

城北学区防災会



【城北学区】

■世帯数：5,271 世帯

■人 口：12,488 人

■面 積：1.507 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

災害に強いまちづくりとして、以下の活動に取り組んでいる。城北小学校校庭及び体育館を活動場所としており、延べ参加者数は約 550 人である。

- ・ 住民の分布と避難所の位置確認
- ・ 協力事業所の開拓と、支援要請活動の推進
- ・ 過去の災害体験をもとにした防災訓練の実施
- ・ 指定避難所において、災害をシミュレーションした防災訓練の実施（調査票の作成、非常食の使い方など）

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示

【アピールポイント】

多くの企業、団体への支援要請活動が実り、多数の締結数になった。指定避難所候補となっているところも 1 か所ある。

2 きっかけ、背景

東日本大震災の現状を踏まえ、東海・東南海地震の強化地域であり、矢田川・庄内川に近接した学区として、災害対策に力を入れている。従来の取り組みを改善して防災規約を定め、組織の意識向上を図り、災害に強いまちづくりを目指している。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ、スポーツ推進委員、交通委員 計約 180 人

(2) 他団体との協力

学区連絡協議会の構成員、地域の企業や団体（13 か所）

(3) 運営協力

町内（自治会）ごとに、防災組織を編成し、学区訓練を通じて人的交流を図っている。

4 実施のスケジュール

H22年5月 北区水防訓練



11月 自主防災訓練



H23年4月 学区防災規約の制定



5月 北区水防訓練（雨天中止）



9月 台風15号接近による救助地区本部設置



10月 自主防災訓練（15号台風の体験をもとに）



H24年5月 北区水防訓練

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・参加者及び担い手が増加した。
- ・調査票の作成、非常食の作り方の訓練ができた。
- ・住民の意識が高まり、住民間の交流が深まった。

(2) 苦労した点

- ・各自治会の認識と行動に格差があった。

(3) 今後の課題・展望

- ・一泊体験を実施するなど、訓練内容をより実践的にすることが課題である。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・自分たちのできることを見いだして実施することが重要。

